

市長への手紙 ご意見とその回答（令和7年1月）

質問	<u>龍ヶ岡公園の滑り台について</u> 公園にある大きな滑り台が人気で、休日は子供達が並んで順番を待っている光景を目にします。 自然と斜面に沿って並ぶかたちになってしまっているのですが、芝生が禿げ、土が剥き出して非常に滑りやすく、結構な列になって並んでいるので、もし上の人が滑ると雪崩状態になりとても危険です。 子供を抱えて親が並ぶ場合もあるのですが、両手が使えない状況で、滑りやすいというのはいつ怪我をしてもおかしくないと思います。私自身も子供と手を繋いで並んだ際に滑った事があります。 なので、遊具に注意書きの様な形で、横に並ぶよう掲示する、またはスーパージのレジの足元の様に、並ぶ方向を指示するものを取り付けるなどした方が怪我なく誰もが楽しめると思います。 注意書きを掲示するなら、それほど予算もかからないだろうし、滑って怪我をするリスクを考えれば、安いものだと思います。 市内在住ではないのですが、子供がのびのびと遊べてとても楽しくよく利用させてもらっているのもより安全に遊ぶことができれば嬉しいなと思います。 周囲からもその様な声を聞くので是非検討してください。
回答	龍ヶ岡公園は本市を代表する公園の一つであり、市内外から多くの皆さまにご利用いただき、また子どもたちが楽しく遊んでいる姿を拝見できることは、大変うれしく思います。 特に、公園内の「たつのこやま」に設置している大型複合遊具（滑り台）は、子どもたちに大変人気で、平日も多くの皆さまにご利用いただいております。 「たつのこやま」は、天然の芝生となっているため、利用者が多い箇所は芝が生えていない状態であることは認識しており、補修等の対応を検討しているところでございます。 また、利用者への注意喚起につきましても、安全面などを考慮しながら検討してまいります。 今回いただきましたご意見は、今後の龍ヶ岡公園の再整備の際の貴重なご意見とさせていただきますとともに、公園を利用される皆さまが楽しく安全に遊べる環境づくりを進めてまいります。 【担当：道路公園課】

質問	<u>龍ヶ崎市出産応援・子育てパスポートについて</u> 昨年6月に同じタイトルで意見を申し上げた者です。
----	---

	その際には「ご指摘いただいた内容につきましては、先日、改めてシステムベンダーに対し、強く改善指示を行いました。今後、これまで以上に進捗状況の把握や協議を行い、可及的速やかな改善に向けて努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。」との言葉をいただき、対応を心待ちにしておりました。 それから半年以上が経過しましたが、サイトにはなんら変化が見られません。システムベンダーへの改善指示はどうなりましたか？進捗状況の把握はしておられますか？ 私が気づいてない部分で改善されたのかもしれませんが。 改善が進んだ部分、今後の改善が予定されている部分について、具体的な回答をお願いいたします。
回答	昨年6月にご指摘をいただき、それ以降、定期的にシステムベンダーとの協議を行い、これまでの間、改善に努めてまいりました。 具体的な回答につきましては、担当である、こども家庭課からお答えいたします。 今後も、引き続きシステムベンダーとの協議を行い、一層の改善を図っていくことで、市民の皆さまの利便性と満足度の向上に努めてまいります。 【担当：こども家庭課】

質問	<u>湯ったり館の再生</u> 豊作村の貸農園を借りて15年。 湯ったり館が使えなくなり、入口店舗もなくなり、苗木もすぐ手に入らず、今後、長く続けるのは、むずかしいと思いはじめています。 湯ったり館はもっと牛久市や稲敷市と手を組んで広域に人集めできる体制をつくるべきだと提案します。 龍ヶ崎の市民ボランティアの活発化は、おどろきです。もっと10年、20年先を見た施策が必要と思います。 豊作村の魅力がうすれてきています。
回答	農業公園豊作村は、公園開設以降、湯ったり館を中心に市内外から大変多くの皆さまにお越しいただき、にぎわいを生んできた施設であり、利用される皆さまに長年愛されてきたものと認識しております。 しかしながら、コロナ禍以前からの課題であった運営状況の悪化は、コロナ禍の影響のみに留まらず、ボイラー等設備器機の老朽化により複数の機器更新に迫られていることや温浴事業の根幹を揺るがす燃料費の急激な高騰などの要因もあり、休館という苦渋の決断に至ったところです。 休館決定後も、湯ったり館を含む農業公園豊作村の今後の運営について検討するにあたり、様々な運営改善策を施すなど、まずは湯ったり館を継

	承する温浴事業を主要事業とした再開ができないものか、温浴事業に関して専門知識のある事業者や実際に類似施設の運営を行っている事業者など様々な民間事業者の意見を聞きながら検討してまいりました。 しかしながら、事業費削減の最大の課題である光熱水費については事業運営面での大幅削減は極めて難しく、温浴事業を含む事業展開であるかぎり、運営費のほか初期投資費用の負担等も含め、当面１０年間で約１０億８，５００万円の費用負担が生じる試算結果となりました。 また、光熱水費を大幅に削減するには、余熱利用や再生可能エネルギー利用などの新たな設備投資により相応の費用負担が必要となるものです。 このようなことから、本市の厳しい財政状況下において温浴事業を再開することは難しいと判断し、今般、温浴事業を終了することを決定したところです。 温浴事業は終了いたしますが、より多くの皆さまに喜んで利用していただける魅力ある農業公園豊作村を目指して、引き続き今後の運営方針検討を進めており、なるべく早い時期にその方向性をお示ししてまいりたいと考えておりますので、ご理解の程お願い申し上げます。 【担当：農業政策課】
--	--

質問	<u>認定こども園における年度末の平日イベント開催方法改善のお願い</u> 日頃より、保育行政の発展にご尽力いただき、誠にありがとうございます。私は、認定こども園に３号認定の子どもを預けています。 このたび、当該こども園における年度末の平日開催イベントについて、保護者の多くが困難を感じている状況を受け、改善のお願いを申し上げたくご連絡差し上げました。 ３号認定児の保護者は、基本的に共働きであることが前提となっています。しかし、年度末の最終営業日近くという非常に多忙な時期に、平日のみでイベントが開催されることで、以下の問題が発生しています。 問題点 １．参加困難な保護者が多数いる現状 年度末は、多くの職場で繁忙期にあたり、保護者が業務を休むことが極めて難しい状況です。このようなタイミングでイベントを平日のみ開催することは、実質的に多くの保護者の参加を制限しているといえます。 ２．子どもの心理的負担 親が参加できない子どもが寂しさを感じる可能性が高く、イベント本来の目的である「保護者の皆さまに園に来ていただき、一緒に時間を過ごし、子ども達の成長を喜び合う」が、子どもにとって辛い体験になりかねませ
----	--

	ん。 3. 代替案の不足 現状、土日開催や後日振り返りの場(動画撮影や写真撮影など)といった代替案が用意されておらず、参加できない家庭に対するフォローが十分ではありません。 要望内容 つきましては、次年度以降、以下の改善をご検討いただきますようお願い申し上げます。 1. イベント開催日の柔軟化 年度末の繁忙期に限定せず、土日や複数日程での開催を検討することで、保護者が参加しやすい機会を提供していただきたいです。 2. 代替案の導入 録画配信、写真提供、後日別日に保護者が参加できるフォローアップの機会を設けるなど、参加が難しい保護者にも配慮した対応をお願いします。 3. 保護者意見の反映 イベント開催時期や方法について事前に保護者アンケートを実施し、共働き家庭のニーズを十分に汲み取った企画運営をお願いしたいです。 園の行事は、子どもたちにとっても親子で楽しい思い出を共有できる貴重な機会であるはずです。その機会を失うことがないように、保護者が安心して参加できる環境を整備していただければ幸いです。 最後に、貴市が子育て支援において力を注いでくださっていることに心より感謝申し上げます。今後も、保護者と子どもがともに笑顔で過ごせる街づくりにご尽力いただきますようお願い申し上げます。
回答	私立の認定こども園で平日に開催されるイベントにつきまして、お仕事の関係で参加することが難しい保護者の方にとりましては、とても残念な思いをされたこととお察しいたします。 イベントを平日開催にした経緯を当該こども園へ確認しましたところ、土曜日の開催は、6日間連続での登園となり、お子さまへの負担が懸念されたことが理由の一つであるとのことでした。 また、もう一つの理由としまして、親子で一緒に給食を食べる機会を設けたいという意図があり、実施にあたりましては、事前に保護者の皆さまには了承を得ているとのことでした。 しかしながら、お仕事をされている保護者の皆さまには、平日の行事への参加は難しい面もあり、日程など開催方法につきましては配慮が必要かと思われます。 こども園での行事に親子で参加することは、楽しい思い出を共有できる

	貴重な機会だと存じます。 今回いただきましたご意見とご要望につきましては、今後、園が行事を開催する際に改めて保護者の就労状況に十分配慮していただくことを市からもお願いしてまいります。 【担当：保育課】
--	---

質問	<u>商店街活性化における各団体の連携とシステムの最適化</u> 私は高校の探求活動の一環で、商店街活性化について学んできました。その中で現在の取り組みをより効果的なものにするためには、既存の仕組みを改善し利用しやすくすることが重要だと考えました。そこで、以下の2点の提案をさせていただきます。 ①各団体の連携の強化 商店街活性化に取り組む団体と、学校の探求活動などの外部団体との連携体制が整っていないため情報共有が十分でないと感じた。 具体案：商店街活性化に関わる団体の情報を一元化するシステムの導入。 ・ イベントカレンダー（各団体の活動予定を一覧化） ・ ボランティアの募集・管理システム（募集目標や現在の参加人数を可視化） ・ ワークショップや、企画の受付窓口の整備 （これを探求の授業時に活用できるよう知らせておく） 効果：各団体の情報が整理されることで、より多くの人に関心を持ち、イベントの効果が高まる。また高校の探究の活動も、実際の地域の取り組みに参加できることでより効果が感じられる内容となる。各団体としても分かりやすい連携システムがとれていれば、イベントや企画を素早く運用することができる。 ②各団体のシステムの改善 背景：商店街活性化には、空き店舗活用が不可欠だ。しかし、店舗を譲り受けた人と所有者がうまくつながれていない状況がある。また、一部のフリースペースでは、予約システムが分かりにくく、利用しづらい。 具体案： ・ 店舗所有者と利用希望者をつなぐ仕組みを整備
----	--

	所有者を明確にし、まずは一店舗から交渉する。住民に何かが変わると思ってもらうことが重要。 ・フリースペースの予約システムを改善 予約の手続きを簡単にし、参加のハードルを下げる。(例、BASEなどのシステムを活用) ・各イベント、ワークショップ実施の様子を動画や、写真などで撮り参加したいと思える広報にする。 効果：店舗の利用が進むことで、Uターン希望者や、新規事業者の参入を促せる。また、フリースペースの利用がしやすくなれば教室の定期開催等、新たな交流の場が生まれる可能性がある。 終わりに これらの仕組みを整えることで、商店街の活性化がより持続的になり、多くの人が関わりやすくなると考えます。 拙い提案ではありますが、地域のさらなる発展につなげていただければ幸いです。
回答	若い世代の方からこのように具体的な提案いただき大変うれしく思います。 商店街の活性化につきましては、本市としても取り組むべき課題と認識しており、ご提案のイベントカレンダーなどを利用した情報の共有化や空き店舗の活用などは、クリアすべき課題はあるものの、多くの相乗効果が期待できるものと考えております。 本市でも、先進事例等を調査、研究するとともに、どのような制度を構築すべきなのかを検討してまいりたいと思います。 【担当：商工観光課】